



発行所 アシュラムセンター
523-0894 近江八幡市中村町 567-2
Tel 0748-33-4030
Fax 0748-33-8856

アシュラムセンターホームページ
www.ashramcenter.jp

編集 アシュラム誌編集委員会

振替 01050-6-53772
アシュラムセンター

印刷 明文舎印刷商事(株)

解題

アシュラムとはインドの言葉で「退修」という意味で、スタンレー・ジョーンズ博士によって日本に紹介されたものであります。祈りの生活をもって事前に自らを整え、今日に於ける主のご委託にこたえんというのがその願いです。

「主があなたを祝福し、あなたを守られるように。主が御顔を向けてあなたを照らし、あなたに恵みを与えられるように。主が御顔をあなたに向けて、あなたに平安を賜るよう」(民6・24-26)。モーセが、アロンとその子らに命じたイスラエルの民への祝福の言葉である。今も、教会の祝福の言葉として、聞いたことのある方も多いことだろう。神がその御顔を、自分に向けていくのださること、これほどの喜びはない。義人ヨブの苦しきも、実は愛する子ども達や財産を、一瞬のうちに失ってしまった事でも、また自らの体に病を負うたことでもなく、この神の御顔を見失ったことにある。「なぜ、あなたは御顔を隠し、私を敵とみなされるのですか」(ヨブ13・24)。神に従う義しい者が苦しみ、神をも恐れぬ悪人が栄えるのか、この世の理不尽を見ると、人は隠れ給う神に対して、嘆き悲しむのだ。

さて、2021年最初のローズンゲン(くじ引き)で選ばれた聖書の言葉は、詩篇4篇の、み言葉である。9節の「平和のうちを横たえ、わたしは眠ります」という言葉からもわかるように、この詩は夕べの歌と言われている。人生の三分の一を占める睡眠は、人間にとつて大変重要な時間である。けれども、人はなかなか平和のうちに安

瞑想

恵みを示すものがあろうかと、多くの人は問います。主よ、私たちに御顔の光を向けてください。

詩4:7

らかに眠ることができないのだ。いつの時代も、私たちは悩みの中に眠れぬ夜を過ごすのだ。思うままにならない理不尽な現実を前にして、悲しみや苦しき、恐れや不安のなか、私たちはそんな長い夜を経験する。そして、自分の内からも、外からも囁くような声が聞こえてくるのだ。「お前に、恵みを示すものがあるろうか」「神は本当におられるのだろうか」と。しかしもし、人が神からの恵みや祝福を、「物質的繁栄」や「この世的愉楽」にのみ期待するならば、それは違う。それらは、ただ虚しく、いつともなく消えていく。母はよく、こう諭してくれた。「マケドニアのアレクサンダー大王は、その死を前にして『私の体を埋葬し、記念碑は建てるな。世界を征服した人間でも死んだら何も残らないと言ふことを人々がわかるように』と命じたのだ」と。

主幹牧師 榎本 恵

なることであり、私たちの周りに溢れかえっているはずの神の恵みと祝福を気づけないままいることなのだ。主の御顔の光を受けるとは、その光のもとに真実の祝福と恵みを見出すことなのだ。「人々は麦やぶどうを豊かに取り入れて喜びます。それにもまさる喜びをわたしの心にお与えください」(8)と詩人は言う。どんな「物質的繁栄」よりも、「この世的愉楽」よりも、まさる喜びがある。今まで、必死になって追い求めていたものが、実は虚しいものであることに気づき、本当の祝福と恵みを見出した時、私たちは平和のうちに安らかに眠れるのだ。友よ、始まったばかりの新しい年も、喜びよりも悲しみが、希望よりも不安がまさるように思えるだろう。けれども、その時に祈ろうよ。「主よ、御顔の光を私たちに向けてください」と。そして、その光に照らし出され、主の祝福と恵みを数えるものとなるようよ。

第28回「盛岡・秋田アシラム」のご報告

角谷 晋次

今年の盛岡・秋田アシラムは5月開催の予定でした。しかし、新型コロナウイルスのために10月に延期して実施されました。

主幹牧師の榎本恵先生は、新幹線で盛岡へ来られご奉仕くださいました。全国の関係の方々へご案内をいたしました。

が、参加者は岩手県のみとなりました。奉仕者の榎本先生を入れて5名でした。家長は、岡田幸助兄でした。28年の歴史の中で、カトリックから本間邦彦兄が今回初参加

が今回初参加

して下さいました。

期間は10月29日～31日の3日間、テーマは「良くなりたかか」でした。4回の静聴の時間では、ヨハネ福音書2章から5章を読みました。

初日の午後は、地域の方々へ開放しての



「公開・講話と音楽会」でした。榎本先生は「不安と恐れを希望へ」と題して話されました。今の時代は新型コロナウイルスもあり、恐れや不安に満ちています。しかし、闇の中で希望はなくとも、神の光は厳然と輝いておりま

われたお言葉でした。本当に信じるか、という問いかけでした。榎本先生は、ただ信じるだけでは駄目なわけだ、「信じ切らなければだめだ」と強調されました。主の言葉の奥には、私たちへ強い覚悟を促しておられるのを学びました。

2日目の11月30日(金)朝は盛岡朝拝会の方々との合同の礼拝と祈禱会でした。中原真澄師が司会されて、榎本先生がエレミヤ書を用いて「真の平和」について奨励して下さいました。その後で参加者11名全員が祈りました。会場の「癒しの宿ロテム」の職員の方々が部分参加して応援して下さいました。私たちのアシラム

希望をもつてキリストの光を頂いて、キリストの人生の中で、希望する人になりました。このように榎本先生は、希望をお話し下さいました。音楽の部では、ミュージシャンの佐々木章さんが、ゴスペルソングを霊感豊かに演奏して下さいました。

顧問の鶴丹谷三千代牧師は、天国の細川泰子先生のご遺志を引き継いで、奥羽の地でのアシラムを祈り継いでおられます。今回は体調を崩されて、開会礼拝のみの出席でしたが、開催に必要な費用を献金して下さい、感謝でした。



鶴丹谷師。和子母とは長年の祈りの友。今も。

すべての面でアシラムセンターがご支援くださり、深く感謝しております。
(盛岡仙北町教会牧師)

「私は弱い時にこそ強い」①

池谷 治朗

主に感謝致します。いつもみなさんのお祈りに感謝いたします。静岡聖書教室に参加している池谷治朗と申します。

アシユラムとの出会いは2017年教会のAさんから誘われて静岡聖書教室に参加

加したのがきっかけです。その当時は、左鼻横に硬口蓋(こうこうがい)ガンを手術したあと、その後同じ箇所再発、余命3ヶ月、1年と宣告された時期でした。余命宣告を受け、イエス様の救いにあずかり受洗。現在余命宣告から3年、



昨年の6月、沖縄巡礼の旅に お父様とご参加。写真左から2人目。第2外科療慰霊祭にて。

生かされていますが、この度、10月検査にて、腰の骨、背中の骨、いたる骨にガンが転移、神経を圧迫しているため、右腰足の激痛があり現在にいたります。これは誰かの言葉かもしれませんが、突然つよく頭に入ってきた

した。

「生きる事は死ぬ事である。」

十字架の死では終わる事がない、再びこられる主を待ち望む、この待つと言う事、簡単ではない、カップラーメンが3分で出来上がるわけには行かない、病や痛みが3分でおさまったり治ったりするならありがたい、そうではない、

主の時がある、それでもその時がどんな時でも主はその出来事を通して働かれる。主を待ち望むとは何もしない事ではない、死んでも生きる事が希望であるように感じています。主に希望をもって歩んでいきましたね。



(日本アッセンブリーズ・オブ・ゴッド希望キリスト教会 (常任運営委員))

アナニアとサフィラ ⑥ ⑦ ⑧ (無教会 岡山キリスト集会京都大学在学中) 香西 信

香西師発行のマラナ・タより (第45回年頭アシユラム早天祈祷会での聖書講話に加筆)

信じた人々の群れは心も思いも一つにし、一人として持ち物を自分のものだと言うものはなく、すべてを共有していた。(使徒言行録 4:32)



2018年3月 友と共に。

6. 「罪人の運動」

奥田知志先生は、北九州市で東八幡キリスト教会というバプテスト教会の牧師をされながら民間のNPO 法人でホームレス支援をされています。奥田先生はホームレス支援という社会事業をしっかりとしたキリスト教神学に裏付けられた理念を持って実践されている稀有な方です。

私が奥田先生の姿勢に非常に共感するのは、人間の罪の問題を直視する、あるいは自覚して生活することの重要性を一貫して説かれている点です。そこには奥田先生が研究されてきたボンヘッファーの神学的影響が顕著に見られると思われます。

人間のあらゆる行為というものはすべてが罪という限界の中で行われるものであって、ただ良い事をしていてというだけではすまされない、必ずその裏には汚い罪の現実というものが張り付いている、(次頁)

表裏一体になっている。そのことを自覚する必要がある。このことを奥田先生はしばしば強調されます。言い換えると、私たちがいくら人助け、あるいは無償の愛を実践する、キリスト教的精神からいいことをすると言っても無意識のうちに自分のためあるいはよく思われたいという虚栄心が入りこんでいる。この意味で、私たちの行為はすべからく「罪人の運動」にすぎないのです。

その著書で彼は次のように語ります。「ホームレス支援だけではない。実は日々の暮らしも、恋愛も、子育ても、介護も罪人の行為である。いや、それどころではない。伝道も牧師の説教も罪人が行っている。教会で傷つく人がいる。牧師につまずく人がいる。それは、教会も罪人の集団に他ならないからだ。

(「もう、ひとりにさせない」いのちのことば社、2011)

＊ ＊ ＊ ＊ ＊

7. 罪許された罪人として生きる

けれども、そのような罪の現実を自覚しつつ、いや、そのような現実から逃れないからこそ、罪人として一層誠実に生きなければならない。悔い改めつつ前に進まなければならない。そこに私たちの生きていく希望があります。

私たちが自覚すべき大切なことは、私たちイエスを信じる者は、ただの罪人ではないということでしょう。私たちは、イエスによって罪を赦された「罪を贖われた罪人」である。イエスの十字架によって罪を赦された罪人として、一人一人この世を誠実に歩むように召されているのです。

確かに、私たちのすべての営み、生活というものはすべてが罪人としての生き様から逃れることはできない、この自覚は必要です。けれども、そこで私たちが絶望せずすむのは、あるいは信仰を捨てて、世俗の享乐的な生き方に染まってしまうことがないのは、神の子イエス・キリストの十字架の贖いということとつもなく高価な代償を伴った恵みが約束されている。与えられているからなのです。これこそイエスの愛以外の何者でもないでしょう。

使徒パウロはイエスの愛(ギリシア語でアガペーと言います。無償の愛などもよく言われる言葉です。)という言葉をはっきりとイエスの十字架の出来事を指して使っています。私たちのすべての罪人としての行為は、イエスの愛抜きには何一つとして成立しないのです。

＊ ＊ ＊ ＊ ＊

8. イエスの愛 — 十字架上の祈り —

父よ、彼らをお赦しください。彼らは何をしているのか自分でわからないのです (ルカ 23 : 34)

このイエスの十字架上の祈りこそが、罪人として生きざるをえない、私たちのための一人一人のための執り成しの祈りです。私たちは、いいことをしているつもりになっても、本当は自分が何をしているのかわかっていない。これが人間の罪の現実です。

そんな罪人私たち一人一人のためにイエスは十字架の上で祈りを捧げてくださった。いや今も捧げ続けてくださっているのです。ですから私たちはイエスの十字架上で執り成しの祈りを今日も、明日も明後日も、繰り返し、繰り返し祈り求め続けていく必要があります。

私たちは自らが罪人であるという厳しい現実と直面し、時には絶望し、時には茫然と立ちすくむ本当に弱者です。そんな私たちが、それでも忍耐して希望を失うことなく、諦めることなく歩いていけるのは、イエスの十字架上の執り成しの祈りがあるからこととあります。この大切なことを最後に指摘しておきたいと思います。

マラナ・タ 第65号 2020年2月より (完)



阪神ミアシラム、シメオン黙想の家にて。コロナ禍のため、少人数でしたが、皆様輝いてお帰りに。



ヴォーリズ学園理事長様ご家族ご来訪。和子母と久々のご対面！懐かしい話、尽きず。



シメオン応接間にて、ミニコンサート♪
甲西伝道所の皆様の賛美が溢れました♪



甲西伝道所の皆様。教会債で、シメオン黙想の家を支えて下さっています。感謝！

「シメオン黙想の家」
皆様のご訪問により
益々祈り込められた家に。



センター聖書教室、東京より、平野克己牧師をお招きして。詩篇一編を皆で味わう。深く深く…

主の御計らいを信じ、祈りお献げ下さった皆様に心から感謝申し上げます。

12月12日に改装感謝礼拝 記念講演会が開催されました。そのご報告は次号にて…

皆様からのお祝いメッセージに励まされる日々です。(一部ご紹介)

“主は生きておられる！
門をくぐる日を待ち望みつつ”



シメオン黙想の家
ステンドグラス

この年も、皆さんの上に主の祝福と恵みが有りますように。(恵)


しかし、「たとえ明日地球が滅びるとも、私はリンゴの木を植える」との言葉のように、年頭アシラムも爾々と進めていこう。大事なことは、正しく恐れ、正しく信じることだ。今年も主は必ず、私たちを導き、共に歩んでくださる。

新しい年が始まった。コロナの感染拡大を心配しているが、一体これからどうなっていくのだろうか。私たちが1月22日からの年頭アシラムが始まるうとして。参加者が来られるか、それともいわれる緊急事態となって、自粛せねばならなくなるか、今想像することはできない。

あとがき

中止、又はオンラインに変更もあり。
ホームページ、電話等でご確認下さい。

1月の聖書教室など	
	【主な問い合わせ先】 0748-33-4030 アシュラムセンター
5(火)	ZOOM聖書教室 (ZOOM AM10:30、PM7:30)
8(金)	阪神ミニアシュラム (主恩教会 PM1:00)
9(土)	広野祈りの家 (兵庫県三木市志染 PM1:00) 猪瀬姉宅
9(土)	聖書と学ぶ会 (ZOOM PM8:00)
11(月)	福岡聖書教室 (博多クリオコートホテル PM1:30)
15(金)	センター聖書教室 (アシュラムセンター AM11:00)
17(日)	ちいろば牧師記念チャペルタ礼拝 (PM5:00)
19(火)	大阪聖書教室 (大阪クリスチャンセンター AM10:30)
20(水)	カフェちいろば聖書入門講座 (京都・伏見区深草 PM1:30)
25(月)	静岡聖書教室 (旧・英和女学院宣教師館 AM10:00、PM1:30)
26(火)	東京聖書教室 (御茶ノ水クリスチャンセンター 4F AM10:30)
2/2(火)	ZOOM聖書教室 (ZOOM AM10:30、PM7:30)
2/5(金)	阪神ミニアシュラム (主恩教会 PM1:00)

1月のアシュラムなど	
	第46回 年頭アシュラム in 滋賀 (琵琶湖コンファレンスセンター 滋賀県彦根市)
	奉仕者 榎本恵牧師 (アシュラムセンター主幹牧師) 貴村かたる牧師 (日本基督教団 天門教会牧師 ・日本クリスチャンアシュラム 連盟事務局)
21(木) 23(土)	 <p>開催 できます ように</p>

人生辛酸多し然れど
雄々しかれ我既に
母に勝てり、日本福音書
一六、三三
和子



みことばと共に歩める日々感謝して…。(榎本和子95才)

みことば



日本基督教団 安来教会牧師
山陰アシュラム推奨者
遠藤 誠一

2、聖くならなければ、主を見ることはできない。②

聖い道を歩きなさい。聖い所にいつも立っていないさい。聖い所で働いて、聖い所で神に仕えなさい。信徒の頭から足の裏まで、聖い声がかいつも聞こえるようにしましょう。モーセがパロの前に立っていても、彼の足の裏は、自分がどれほど聖い所に立っているだろうかと感じたはずです。

祈る者は、祈る場所だけが聖いのではなく、すべての時間が聖いのです。すべての時間が祈る時間であり、すべての場所が祈る場所なのです。ある特定の場所だけで神を聖くあがめ、その外に出て行くと、その方と関係なく、聖い刺激を避ける者は神を欺き、神を試みる者になってしまいます。その人は、祈りを神に届けることができるでしょうか。

聖い人は、バプテスマを受けたその時から、墓に入って行くその時間まで、聖くなければなりません。「聖い」とは神と共にいることを覚えて、神の御前でいつも尊敬と、敬虔さと、恐れによって神と共に生活することです。

自分の祈りの課題を、神の御前に持って行った後、その答えがあるまで、すべての時間は聖く、祈る時間としましょう。神は、祈る者がどれくらい声を大きく出すのかに関心があるのではなく、その人がいかに聖いかに関心を持たれるのです。

イスラエルを聖い民だと言われたのも、彼らがいつも神の御前で食べ物と飲み水を求めて、昼は雲の柱で、夜は火の柱で導きを受けたからです。しかし、その中でも、エジプトを思う者たちは滅びてしまいました。彼らは聖くなく、神が彼らを捨てたのです。また、偶像を拝んだり接する者は聖くないので、神が彼らを捨てられたのです。このように、神の聖い御言の前にいることを忘れた者たちは、捨てられてしまいました。

モーセが、カナンの地を目の前にして、願ったその場所に入ることができなかった理由は何でしょうか。神は「わたしを信じないで、…わたしの聖なることを現さなかったから……」と言われました。民の不平に耐えられなくて、神の御前に立っているという自分の立場を、しばしば忘れました。足の裏から上って来る聖い刺激を瞬間に逃してしまったのです。

新約聖書でも、「あなたがたは神の宮であって、神の御霊が自分のうちに宿っていることを知らないのか。もし人が、神の宮を破壊するなら、神はその人を滅ぼすであろう。なぜなら、神の宮は聖なるものであり、そして、あなた方はその宮なのだからである」(1コリント3:16-17)と言われました。私たちは、祈る時間だけ「聖」を意識する時間ではなく、24時間、聖い宮として、今からは、神が私達の中におられることを思って、聖い人生を生きましょう。(次号につづく)